

幸手市立八代小学校 学力保障グランドデザイン



学校教育目標

自ら進んで学ぶ子

心豊かで思いやりのある子

ねばり強く健康な子

令和5年度 八代小学校学校経営方針

地域に信頼され、笑顔・活気・自信・誇りがあふれる学校
【自ら進んで学ぶ子】 【心豊かで思いやりのある子】 【ねばり強く健康な子】

学力向上の基盤となる総合的な力の育成
【信頼】 【高潔】

オモダカ・ルピナスプラン

信頼
・信頼感の醸成から信頼される学校づくり
【学びの意欲】 【主体的な学習活動の展開】

高潔
・美しく質の高い学びづくり
【主体的な学習活動の展開】 【自ら進んで学ぶ子】

想像力(+創造力)
・主体的な学習活動の展開
【自ら進んで学ぶ子】

学びの意欲
・主体的な学習活動の展開
【自ら進んで学ぶ子】

笑顔・活気・自信・誇り
～ドラマチックな八代小～
【たくさん笑顔、努力が人々を笑顔にする学校】

学校研修課題

子どもが夢中になる、「もっと楽しい」体力向上につながる授業の創造

～「やってみよう」「できた」「またやりたい」を実感できる～体育科の学習を通して～

本年度の重点

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の定着
- 2 課題解決能力の育成 (PBLの充実)
- 3 プレゼンテーション能力の育成



目標達成の指針

- 1 全国学力・学習状況調査【平均正答率】
- 2 埼玉県学力・学習状況調査【学力が伸びた児童の割合】
- 3 幸手市統一学力調査【学力層】
- 4 幸手市統一確認テスト【平均正答率】
- 5 授業外の学力向上関連取組の日課表への位置づけ【年間継続期間】
- 6 家庭学習強化期間の実施【各学期】



予測困難な時代を逞しく生き抜く「人財」づくりにつなげます。

学校の共通行動



❖ 「オモダカ・ルピナスプラン」による真剣・集中の姿の深化、及びイノベーション力の育成

- 信頼・高潔な学校づくり
- 学力向上の基盤となる総合的な力の育成
 - ・想像力と想像力
 - ・自他にとっての新しい発見
 - ・学校生活の充実
 - ・共に学ぶ、友と学ぶ、友に学ぶ
 - ・SDGsを踏まえた教育活動
 - ・現状に満足しない、学び続ける意欲
 - ・児童にとってのPDCAの涵養



❖ 「幸せ教師五者」を踏まえた教育活動の実施

- ・教育の専門家として高い自覚をもち、日々の指導を行い、「楽校」づくりの先駆者となる。
- 【①指導者 ②伴走者 ③演出者 ④先導者 ⑤経営者】

確かな授業実践



❖ 幸手市スタンダード授業V withGGAの徹底

- ・導入から終末までを見通した、幸手スタンダード授業V withGGAを踏まえた授業づくり
- ・学習指導案への位置づけ

❖ 市教委と連携した学力向上プロジェクト

- ・幸手市統一学力調査、確認テストの結果分析を踏まえた授業改善及び個別支援の実施
- ・全国学調、県学調の分析による求められる育成すべき力の確認

❖ PBLの実施とICTを利活用した分かる授業の実践

- ・PBLを踏まえた授業づくり
- ・タブレット端末の利活用スキル向上(児童・教師)のための研修会の実施
- ・CBT対策の実施



❖ 一人一研究授業の実施による相互研究

授業外での取組



❖ 日課表に位置づけた基礎・基本の定着に向けた通年の取組

- (1) 業前 20分間
 - ・読書タイム(火)【読書量の確保】
 - ・タブレットタイム、オンラインタイム(水)【学力向上、及びICTスキルの向上】
 - ・チャレンジタイム【体力向上】



- (2) 5校時開始前 10分間
 - ・スキルアップタイム(火～金) 国語、算数を中心とした基礎基本問題への取組【学力向上】

❖ 漢字検定の実施(各学期)

- ・漢字のまとめテストを業前等に実施し、満点をとった児童を校長が表彰(表彰シール)する。【学力向上】

家庭・学校間連携



❖ 家庭学習(宿題・自主学習)の習慣づけ

- ・自主学習強化週間の設定

❖ 「8つの種(学校・家庭・地域共同指導指標)」による児童への働きかけ

- ・安心して学びに取り組める学校・家庭・地域環境づくり

❖ タブレット端末利活用の充実

- ・家庭における適切な管理依頼(毎日の持ち帰り、充電、通信環境、破損防止等)
- ・家庭学習における個別最適な学び(課題別ドリル)
- ・やむを得ず登校できない児童に対するオンライン授業の配信
- ・PBLの家庭における理解

❖ 東中学校区学力向上への取組

- ・授業の相互参観、児童生徒に関する情報交換の実施

